

農業委員会の「組織」が決まる

改選後初の総会



会長に田村氏を再選 会長代理には溝渕氏

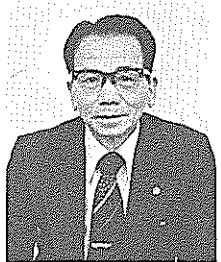
改選後初の「農業委員会総会」が十一月十七日、市役所大会議室で開かれ、会長や部会長の選出、農地・農振部会長の構成員決定など、向う三年間の「組織づくり」を行いました。

会では、まず、会長、会長代理の選出。委員全員で選挙を行い、会長に前会長の田村英夫氏(成金)、会長代理に溝渕正氏(里改田)がそれぞれ選ばれました。

再選された田村会長は、「本市農業には数多くの課題が残されている。めまぐるしい八十年代、これに対応できる、たくましい農業づくりのために、四十名の委員が一丸となってがんばってほしい。委員のみなさんのご協力をお願いします。」と、また、溝渕会長代理は「会長代理に選ばれ、責任を感じています。任期いっぱいがんばっていきます。」と、それぞれ抱負を述べました。

これに続いて、農地・農振部会(定数はそれぞれ二十名)の構成員の決定、部会長、部会長代理の選出が行われ、次のように決まりました。(◎印は部会長、○印は部会長代理)

◎北村茂樹(領石)・堀川和夫(下島)・松岡幸寿(稲生)・刈谷折夫(前浜)・山岡誠(小笠)・沢本一男(下野田)・浜田庄平(田村)・西本輝猪(金地)・野村進(白木谷)・森尾稔(十市)・窪田一郎(藤原)・吉本一之(田村)・沢村武一(十市)・川久保真一(片山)・森本繁(岡豊町定林寺)・竹中浩(園分)・浜口信



田村会長

農業者のための農業委員会に

農業は「農産物は今や国際戦略物資」という言葉に象徴されるように、非常にむづかしい産業だと言わざるを得ませんが、残念ながら本市にもそのまま通用します。思いっくだけでも……

①水稲を希望量だけ圃に買いあげてもらいたい。
②減反面積はもうこれ以上増やせない。
③ハウス作りや転作作目の選択。
④葉タバコ栽培面積の頭打。
⑤加温用油などの諸資材の高騰。

農業者の側にとって、どう打開して経営安定に導くか……農業委員会の使命は重大といえます。

農業委員会は、農地法に定める種々の利用関係の調整、自作農の創設維持、交換分合などの処理をする他に、農業(農村)の振興計画の樹立実施の推進、農業生産・経営・生活の調査研究、意見の公表や市などへの建議、諮問への答申ができる機関です。

新体制の農業委員会の積極的な活動には市内約五千戸の農家だけでなく、非農家からも多くの関心がもたれることでしょう。

勇退の農業委員さんに感謝状

総会に先だって、このほど勇退された(任期は十一月十六日)四人の委員さんに、小笠原市長から感謝状と記念品が贈られました。

四人の委員さんはいずれも水年にならってその職で活躍されてきたベテランで、小笠原市長は「永い間、複雑な農業行政に尽くされ、ありがとうございました。おかげで私たちが順調に行政にたずさわることができました。今後も健康で活躍してください」といいます。

委員さん代表として、山本昇さんが「ありがとうございました。今後とも市のために何かのあたちでお役にたつようがんばります」と、お礼の言葉を述べました。

感謝状を贈られた委員さんは次

将来の米作りと給食

北陵中一年 金田信行

米消費拡大キャンペーンの一環として、市内の小、中学生を対象に募集した作文のなかから、金賞作品を紹介します。

ぼくの家は、代々百姓の家だ。父の父つまり祖父は、満州今の中国で戦病死をし、父は祖父の顔さても憶えていないそうす。終戦の時から父の苦勞は始まり、祖母や、ひじいさんや、ひばあさんの力で、山の開きの田んぼを人力で開拓をし、一合のお米でも大切にたそうす。

今は米の取れすぎで政府もこまじり、減反、減反とさわいでいます。ぼくの家の田のように、人の血とあせとがにじんでいる耕地が山の頂上にあるのでは、他の作物もなかなか思うようには転作できません。

今まで大事に守ってきた田んぼを、年よりの近所のおばさんが、やむなく五十アールほど全部植林にしてしまった。その田は、ぼくの田の近くにあるので時々父の手伝いに行くと見ると、なんだか昔の人達がなっているような気持になるのは不思議です。

母の里、植田でもおじさん、おばさんが県外の会社へ就職をして、今はおばあさん一人でごんばって、田んぼにしがみついて稲作をやっています。

「お米作りは、いままでやってきたことやしよいが、米の代金が安いきに、お米だけでは食べて

いけません。やつと水がまわって来て途中で半分の水が地中にしみこんでしまうそうす。山の田の苦勞を思うとぼくは植田のおばあさんに、「がんばりや」と言っかけてやります。

将来、ぼくが父といっしょに米作りをするときは、良質の米を、機械化により、三百アール以上は作り、二毛作にして野菜をたくさん作る。そして消費者の家へ直接配達して販売したり、自分で値段をつけて販売したり、そしてタブついでに古い米は世界の難民達に無料で配るように政府にはたらかけてたい。現在、学校の給食は小学校だけが完全給食ですが、それもパン食が多くなんだかおかしなく、時々残す子どももいます。なぜお米の給食にしないのですよか。それから中学校も完全給食とまでいかななくても、なるべく給食にしてみたいかと思いま

の方々です。(敬称略)

▽東村利治(立田) 昭和三十七年より連続六期、十八年間。
▽山本寿春(十市) 昭和三十四年より連続七期、二十一年間。
▽浜田虎茂(里改田) 昭和三十四年より連続六期、十八年間。
▽山本昇(東崎) 昭和三十七年より連続六期、十八年間。

新川川水止めのお知らせ

来年2月25日まで

昭和五十五年度事業として、五十六年二月二十五日までの間、新川川を断水して工事を行っています。

期間中は、関係者のみなさんに農業用水、家庭排水、工事にによる騒音などで、たいへんご迷惑をおかけしますが、用排水路の改良と河川の環境改善を図る工事ですので、ご理解とご協力をお願いします。

★工事箇所は……
新川川、溝延置店前から下田川合流点まで。
なお、工事のくわしいことについてはおたすねは、建設課土木係 ☎2111(内線211)まで。

それは弁当とおかずがたいきまつた物しか入れてくれないくて、野菜などの料理が限られていること、夏になると味がますますくなくなり、夏になると味がますますくなくなり、夏になると味がますますくなくなり……

代表食品はやっぱり米が、今に世界中の食品よりもすぐれた性質を持つている食物だということばかり、将来食料危機が来た時、お米はやっぱり役に立つと思います。